



第9回 文部科学省 I B 教育推進コンソーシアム関係者協議会

【2021年6月22日】

令和3年度のコンソーシアム活動について

# 国内における国際バカロレア推進

## 国際バカロレア認定校等を200校以上（目標：2022年）

\* 成長戦略2020（令和2年7月閣議決定）

\* 2021年03月30日時点 167校（残り33校）

※認定校・候補校の内訳  
PYP：認定校49校 候補校11校  
MYP：認定校24校 候補校14校  
DP：認定校57校 候補校12校

### < IB導入の4つの意義 >

#### ① 変化する社会に対応するグローバル人材の育成

\* 課題発見・解決能力、論理的思考力、コミュニケーション能力の育成など

#### ② 国際的通用性

\* 高校卒業から海外大学にも直接入学する選択肢の拡大

#### ③ 初等中等教育の質の向上

\* 全人教育を通じた主体的学びを重視し、初等中等教育の好事例を形成

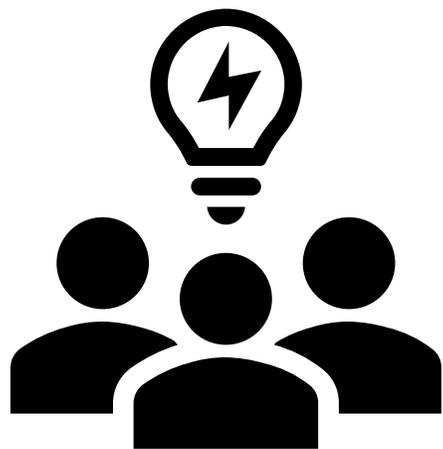
#### ④ 国内外の優秀な人材の獲得

\* 大学の活性化、教育内容・教育環境の国際化



# IB教育に関する諸課題の解決に向けた活動計画

---



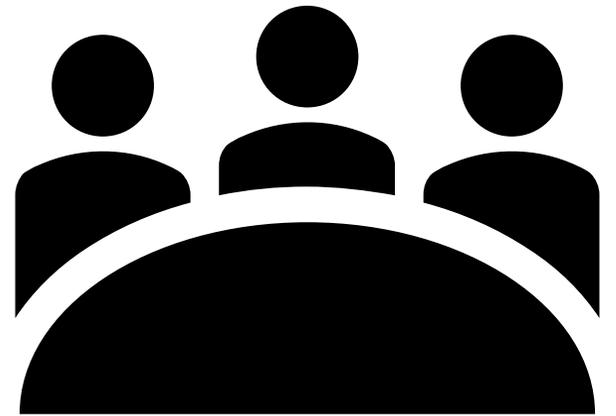
これまでの関係者協議会の各分科会からの提案を踏まえた上で諸課題へのアプローチに関する活動計画を事務局として策定した。

2021年度は活動計画を進めていく上で、各構成員によるIBに係る現状の課題意識の共有を踏まえながら、具体的な活動の強化を検討したい。

また、諸課題については、IB機構やコンソーシアムに関するコミュニティならびに国内のIB関連諸団体に期待される役割に応じて課題解決に努めていきたい。

## ①学校・自治体へのIB導入への必要な支援

- 2022年までにIB認定校等を200校以上(残り33校)を目指す上で、導入に関心のある自治体ならびに学校に対して検討材料となりうる十分なIB資料提供は欠かせない。
- 今後の効果的なIB啓発活動(ヒアリング面談等)においても、学校・自治体へIBに関する基礎資料等を提供していくことは、IB推進の費用対効果としても高いと考えられる。
- 各自治体が初等中等教育でのIB導入を検討することで、その実践が学習指導要領の目指す「主体的・対話的で深い学び」の好事例につながると期待できる。



## ①学校・自治体へのIB導入への必要な支援

### ①ヒアリング面談を含めたIB啓発活動の充実（対：都道府県ならびに市町村区教育委員会等）

— 関心のある学校・自治体への継続的なヒアリング活動の実施

アプローチ先：教育委員会（都道府県←DP 市町村区←PYP、MYP） 学校（SGH・SSH・WWL校等）

### ②IB導入好事例に関する集約と共有

（導入に関心のある学校・自治体向け基礎資料の充実／コンソーシアム通信の発行等）

— トピック：IB導入の意義・価値／導入までのプロセス事例／設置計画の策定（検討組織の設置、予算の確保等）

／地域理解の形成／グローバル人材育成事業との関連性の明確化（SSH、SGH、SGU等）

／IB修了生のキャリアパス情報 等

### ③シンポジウム・地域セミナー・IB導入相談会等の各種イベントの実施

— IB啓発のシンポジウム・地域セミナー・学校・自治体の関係者向けのIB導入に焦点を当てた相談会の実施



# ①学校・自治体へのIB導入への必要な支援

2021年度		2022年度	
4-10月	11-3月	4-10月	11-3月
	<b>【学校・自治体へのヒアリング訪問・啓発セミナーの実施】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IB導入に関心のある学校・都道府県教育委員会等へのヒアリング面談</li> <li>・各地域における地域啓発セミナーの実施</li> </ul>		
	<b>【IB導入の好事例の発信】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・IB教育導入サポーターの活動（ヒアリング活動への同席）</li> <li>・学校・自治体向けのIB導入相談会の実施（協力：IB機構）* <u>地域セミナーと合わせて開催予定</u></li> <li>・コンソーシアム通信の発行（IB導入・実践の好事例の共有）</li> <li>・IB推進シンポジウムの実施（年2回）</li> </ul>		
	<b>【IB基礎情報の共有】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎資料のリバイス（随時）</li> <li>・コンソーシアムHPの充実（随時）</li> </ul>		

# ①学校・自治体へのIB導入への必要な支援 (赤字：今年度活動ポイント)

## ①ヒアリング面談を含めたIB啓発活動 (2020年度実績)

### 【ヒアリング面談先】

都道府県教育委員会 3機関 (埼玉県、熊本県、静岡県)  
市町村区教育委員会 4機関 (倉吉市、岩国市、田尻町、土佐清水市)  
学校 (幼稚園・小学校・中学校・高等学校) 18校



2021年度は各自治体の教育長宛にヒアリング面談の案内状を送付 (6月15日済) また、学校はSGH・SSH・WWL校に加え全国国公立大大学附属学校にも対象を拡大

## ②IB導入好事例に関する集約と共有

### 【AirCampusにおける好事例掲載事例】

過去のシンポジウム・地域セミナーのアーカイブ動画・資料 / 札幌開成中等教育学校 MYP Personal Project 教員向けインストラクション動画 / 昌平中学校 授業紹介 / 茗溪学園IBコース在籍生徒インタビュー / 茗溪学園IBコース授業紹介 (生徒作成) (IB授業・資料) / 市立札幌開成中等教育学校発行「開成の歩み」 / 仙台育英学園高等学校「一条校への国際バカロレアプログラム導入」 / 「IBDPデュアルランゲージで行うTOK授業」 / 市立札幌開成中等教育学校「MYP Personal Project」 / 昌平中学校・昌平高等学校リーフレット / 市立札幌開成中等教育学校「英語科Phaseの仕組みについて」 / 県立横浜国際高等学校「国際バカロレア認定推進校 平成30年度 研究開発実施報告書」 / 開智日本橋学園中学・高等学校 オンライン授業の取り組み / 聖ヨゼフ学園小学校 「聖ヨゼフ学園小学校のあゆみ」 / 東京学芸大学附属国際中等教育学校 紀要論文・報告書 等



IB認定校・候補校の事例を収集しつつ、IB教員養成大学における好事例の収集も行う



## ③シンポジウム・地域セミナー・IB導入相談会等の各種イベントの実施 (\*はオンライン開催)

### <シンポジウム>

- ・ \*第4回IB推進シンポジウム 2020年10月3日 (日) 申込者数: 1100名 (最高視聴者数: 492名)
- ・ \*第5回IB推進シンポジウム 2021年3月20・21日 (土・日) 申込者数: 1027名 (最高視聴者数: 431名)

### <地域セミナー> ※IB導入相談会はセミナーと同時開催

- ・ IB地域セミナー in 滋賀 2020年9月27日 (日) 参加者数: 68名
- ・ \*IB地域セミナー in 甲信越 2020年12月20日 (日) 申込者数: 79名 (最高視聴者数: 42名)
- ・ \*IB地域セミナー in 北陸 2020年12月27日 (日) 申込者数: 49名 (最高視聴者数: 30名)
- ・ \*IB地域セミナー in 四国 2021年1月10日 (日) 申込者数: 112名 (最高視聴者数: 62名)
- ・ \*IB地域セミナー in 北関東 2021年1月24日 (日) 申込者数: 98名 (最高視聴者数: 49名)
- ・ \*IB地域セミナー in 九州 2021年2月11日 (木・祝) 申込者数: 78名 (最高視聴者数: 46名)
- ・ \*IB地域セミナー in 中国地方 2021年2月28日 (日) 申込者数: 75名 (最高視聴者数: 28名)



<2021年度IB導入相談会予定>  
第1回6月30日 \*オンライン開催  
第2回9月1日 \*オンライン開催

<2021年度地域セミナー予定>  
9月26日 (日) in 東北地方 (青森)  
10月23日 (土) in 北陸地方 (金沢)  
11月13日 (土) in 中国地方 (鳥取)  
12月11日 (土) in 甲信越地方 (松本)  
1月10日 (祝) in 九州地方 (佐世保)  
2月12日 (土) in 東海地方 (名古屋)

## ②IB教員養成における量的拡大と質的充実

- ・ 増加するIB校において求められる専門性を有する教員ニーズに対応する上で、力量のある教員養成が重要である。

- ・ 日本での充実したIBワークショップの実施や、各IB校での校内研修の促進、IB教育実習や視察の受け入れ促進等による教師側の力量形成につながる機会をコンソーシアムとして作り出していく必要がある。（コンソーシアム協力校・機関による連携促進）



## ②IB教員養成における量的拡大と質的充実

### ①教員養成課程を有する大学におけるIB教育に対する理解の促進（出張講義等の実施）

- ー教員養成課程に在籍する学生へのIB教育への理解の促進
- ーIB教育導入サポーターならびにACファシリテーター等による出張講義サポート

### ②IBの考え方（教科横断的なアプローチ等）に関する研修会の推進（コンソーシアム協力校・機関による活動）

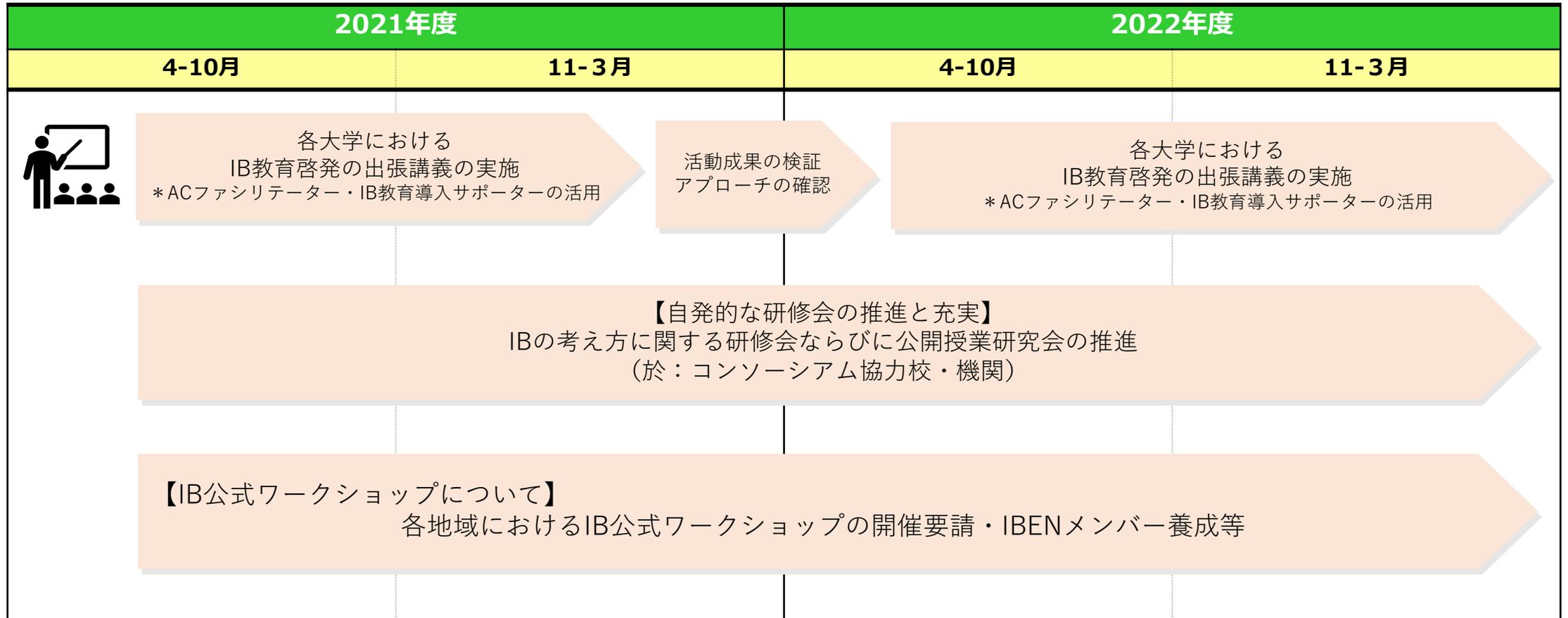
- ーコンソーシアム教育関係者間におけるカリキュラム・科目等の研修会の推進（情報の集約と発信）
- ー国内のIB認定校・候補校・関心校におけるIB教育に関する公開授業研究会等の推進

### ③国内のIB公式ワークショップの開催充実（IB機構との連携）

- ーバイリンガルIBENメンバーによる国内の公式ワークショップの開催促進



## ②IB教員養成における量的拡大と質的充実



## ②IB教員養成における量的拡大と質的充実（赤字：今年度活動ポイント）

### ①教員養成課程を有する大学におけるIB教育に対する理解の促進（出張講義等の実施）

教員養成課程を有する大学におけるIB啓発を狙い出張講義等に関する案内レターを検討

（支援：コンソーシアム事務局によるIB教育の概要説明、IB教育導入サポーターならびにACファシリテーター等による出張講義サポート等）

### ②IBの考え方（教科横断的なアプローチ等）に関する研修会の推進（コンソーシアム協力校・機関による活動）

IBの考え方に関する研修会の推進する上で、コンソーシアムとしての後援（名義）等を積極的に行う

#### 【コンソーシアムHPでの広報事例】

—仙台育英学園×ホライゾン学園：第2回IB オンラインセミナー 2020年11月21日（土）13：00－15：00

—岡山理科大学附属高等学校：IBDP Group4の個人研究指導法研究会 2020年12月12日（土）9:30－16:00

—玉川大学学術研究所：教育フォーラム2020 IBにおける学習と指導のアプローチ2020年11月29日（日）9:30－16:00

—東京学芸大学附属国際中等教育学校：「令和2(2020)年度実施 第7回公開研究会」2020年11月21日（土）13：00－16：00

—国際基督教大学：「TOKとDP6教科の学びと授業づくり」2021年1月17日（日）10：00－15：30

—大阪教育大学附属池田中学校：令和2年度大阪教育大学池田地区附属学校研究発表会 2021年1月23日－2月7日

—筑波大学附属坂戸高等学校：第2回WWL研究大会・第24回総合学科研究大会 2021年2月12日（金）・13日（土）

—共同主催：英数学館高等学校・岡山理科大学附属高等学校：TOK 学び合いの会 (Job-alike) 開催 2021年6月6日(日)

### ③国内のIB公式ワークショップの開催充実（IB機構との連携）

IB機構への日本語による公式ワークショップのさらなる充実を要請していく

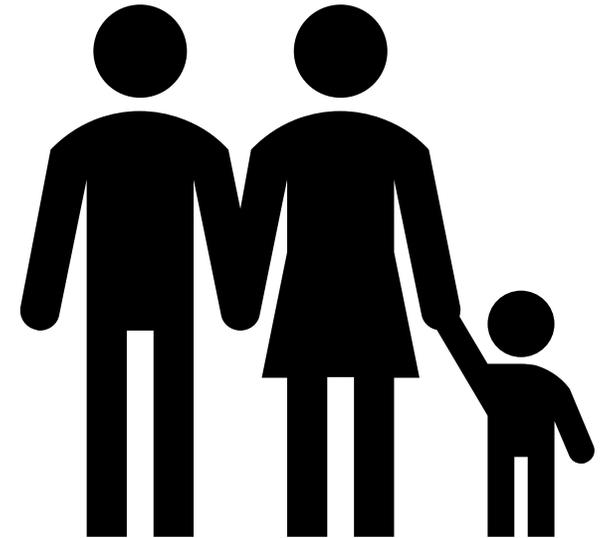
IB公式オンライン・ヴァーチャルワークショップ（日本語）の開催 2021年4月2日-4日（開催済み）／ 8月2-4、7日（予定）

\* 2020年度・2021年度の日本語によるワークショップはオンライン・ヴァーチャルにて開催予定



### ③生徒・保護者へのIB教育に関する情報提供

- IB教育を享受する生徒やその保護者に対するIB理解啓発活動を通じて国内全体のIB教育の認知度を高める必要がある。
- 様々な進路選択の中の1つとして、IB教育を選ぶことができる環境を整備し、さらにIB修了生の進路に関する情報も周知していくことが重要である。



## ③生徒・保護者へのIB教育に関する情報提供

### ①生徒・保護者向けのIB教育の基礎情報の発信

ーコンソーシアムHPやAirCampus等を通じたIB基礎情報（FAQ等）の発信

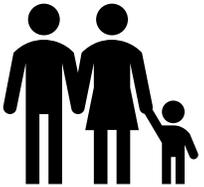
### ②生徒・保護者向けのIB啓発セミナーの実施

ー国内における学校相談会・進路相談会等への参画

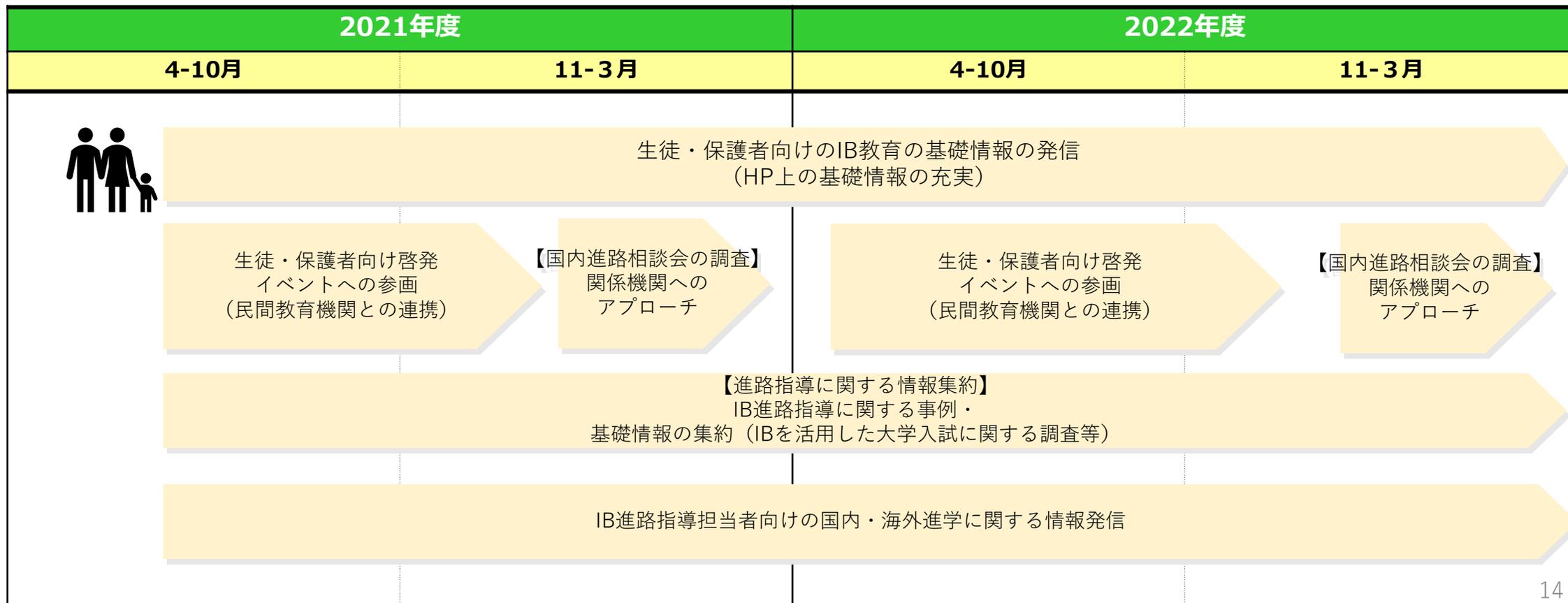
（例：民間教育機関等との連携）

### ③IBを活用した国内・海外大学への進学情報

ー入試情報や奨学金情報等の情報発信



### ③生徒・保護者へのIB教育に関する情報提供



## ③生徒・保護者へのIB教育に関する情報提供 (赤字：今年度活動ポイント)

### ①生徒・保護者向けのIB教育の基礎情報の発信

ーコンソーシアムHPやAirCampus等を通じたIB基礎情報 (FAQ等) の発信

←生徒・保護者向けのIB教育の基礎情報の充実を図る (助言：ACファシリテーター・IB教育導入サポーター)

### ②生徒・保護者向けの IB 啓発セミナーの実施

\* 生徒・保護者向けのIB理解啓発イベントは海外子女教育振興財団主催のオンライン個別相談会にてIB教育に関する講演および進路に関する教育相談を行った。(参加機関：140の学校・団体 延べ約2,600名の参加者)

ーIB教育制度に関する特別講演「子どもの進路選択：国際バカロレア教育について」2020年7月13日 (月)

ー個別のIB教育相談 (参加者数：10名) 2020年8月18日 (火)

←今年度は幅広いテーマの特別講演ならびに教育相談を実施予定 (ACファシリテーター・IB教育導入サポーターも登壇予定)

(講演予定：IBの推進について、小学校とIB教育、中学校とIB教育、高校とIB教育、IB修了生を求める大学)

### ③IBを活用した国内・海外大学への進学情報

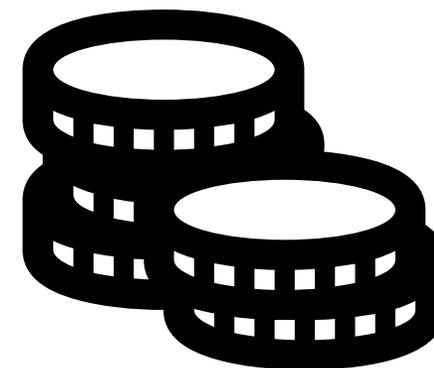
ー入試情報や奨学金情報等の情報発信 (HPでの情報発信予定)

←IBを活用した大学入学者選抜及び大学におけるIB修了生の受入れに関する現状把握・必要な改善の検討を行う



## ④IB生に対する財政支援について

- IB教育が経済的に裕福な家庭のみが享受できるものとしてはいけない。相対的貧困の家庭の子供も含めて、希望するすべての児童生徒がIB教育を受けられる環境を整えていくことが重要である。



## ④IB生に対する財政支援について

### ①IB認定校での在籍生への財政支援の状況把握ならびに既存の国内奨学金支援団体との連携の検討

- ・ 国内のIB認定校における在籍生徒に対する財政支援の状況調査
- ・ 国内の既存の奨学金団体にIB生を対象にした就学支援プログラムの設置を要請する。

### ②IB生の負担軽減の検討（公的な支援が困難なものを含む）

対象例：最終試験の科目毎の試験料 / PC やグラフ電卓などの必須な器具備品

IB の活動に係る授業料以外の教育費（個人負担となる学校活動費など） / IB コースに係る追加の授業料 等

2021年度		2022年度	
4-10月	11-3月	4-10月	11-3月
 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ IB認定校における財政支援に関する状況調査</li> <li>・ 既存の国内奨学金支援団体との連携の検討（団体へのアプローチ活動）</li> </ul>	IB生の負担軽減のための支援スキームの確立		

## ④IB生に対する財政支援について（赤字：今年度活動ポイント）

IB認定校での在籍生への財政支援の状況把握ならびに既存の国内奨学金支援団体との連携の検討

—国内のIB認定校における在籍生徒に対する財政支援の状況調査（今年度実施予定）

\* 調査項目例：IB生に対する奨学金制度の有無、IB生の負担軽減措置等

—自治体における高校生等への修学支援について \* 事務局調べ

各都道府県において、高校生を対象にした授業料以外の教育費負担を軽減するため奨学金制度を確認

参考：文部科学省HP「高校生等奨学給付金のお問合せ先一覧」

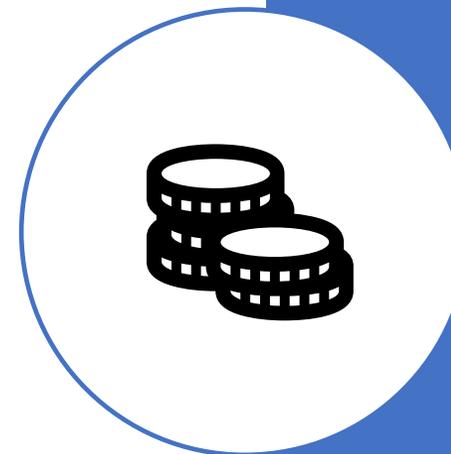
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/mushouka/detail/1353842.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/mushouka/detail/1353842.htm)

—その他、高校生を対象にした奨学金制度（全国規模）について \* 事務局調べ

- ・ 日本教育公務員弘済会（給付型）
- ・ 全国社会福祉協議会・生活福祉資金
- ・ あしなが育英会
- ・ 交通遺児育英会
- ・ 公益財団法人似鳥国際奨学財団
- ・ 日本財団「日本財団夢の奨学金」
- ・ 公益財団法人UWC日本協会奨学生（経団連支援）

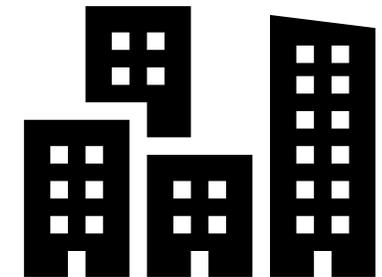


スキームの見通し：高校生のための修学支援情報の発信



## ⑤企業家の視点からグローバル人材の必要性

- グローバル人材の好事例としてIB修了生が産業界においてどのように活躍しているのかを取り上げた上で、IB教育を通じて養われる資質や能力をエビデンスをもとに多角的に検証していく必要がある。
- Society5.0を想定した社会における人材輩出において、IB教育がどのような役割を果たすのかについて、IB修了生の追跡調査していくことで明らかにすることが望ましい。



## ⑤ 企業家視点からのグローバル人材の必要性

### ① IB修了生とグローバル人材の資質能力に関する多角的な検証・エビデンスの収集

例：グローバル人材育成に関する先行研究に関する調査・検証のためのデザイン策定

### ② 活躍するIB修了生のグローバルなキャリアパス事例の共有

シンポジウム・セミナー等でのIB修了生のキャリアパス事例の発信

2021年度		2022年度	
4-10月	11-3月	4-10月	11-3月
 検証のデザイン策定	国内企業を対象としアンケート調査の実施	調査内容の分析・エビデンス活用 (IBシンポジウム・セミナー等での活用)	
シンポジウム・セミナー等での キャリアパス事例共有 (IBを修了した大学生・社会人)			

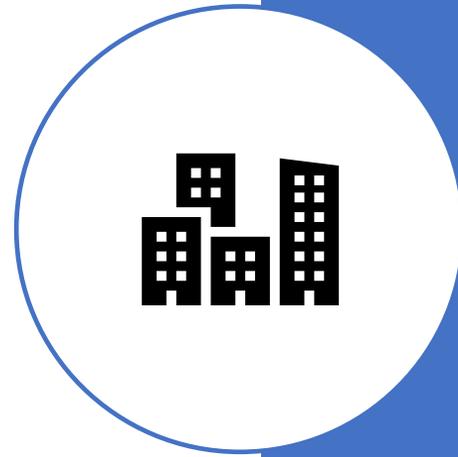
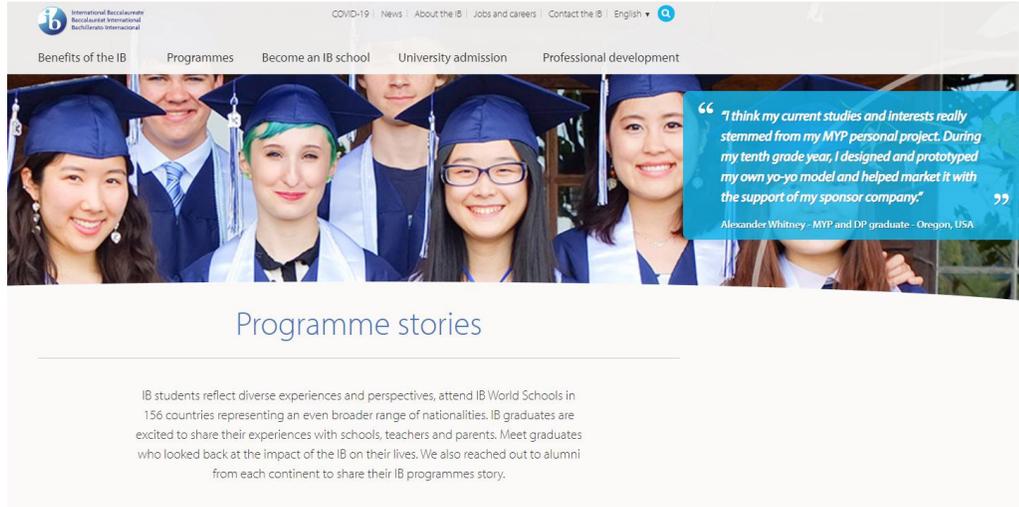
# ⑤ 企業家の視点からグローバル人材の必要性 (赤字：今年度活動ポイント)

## ① IB修了生とグローバル人材の資質能力に関する多角的な検証・エビデンスの収集

### IB修了生へのインタビュー記事等のエビデンスの収集

<参考資料：IB機構HP掲載記事>

インタビュー項目例：なぜIBを履修したのか／IB教育が自分の興味関心にどのようにつながったのか  
／現在の勤め先での仕事／現役IB生へのキャリアパスの助言等)



出典：IB機構HP「Programme stories」 <https://ibo.org/testimonials/> (2021年6月16日に利用)

←国内のIB修了生を対象にコンソーシアムでも同様の事例発信を検討  
(調査方法案：社会人IB修了生へのアンケート調査等)

## ② 活躍するIB修了生のグローバルなキャリアパス事例の共有

2021年度シンポジウム・セミナー等においてIB修了生のキャリアパス事例のセッションを実施予定